

第5学年5組 総合的な学習の時間

「大切なわたし、大切なあなた・『差別』って何だろう②」

学習活動・予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿				
<p>1. 前時を振り返り、「性に関する『差別』の定義」について確かめたうえで、具体的事例をもとに、めあてをつかむ。</p> <p>①Aさんは、電車の中でスマートフォンを利用し通話していたら、周りの人に注意をされた。 ②Bさんの家族は、「あの行政区に住んでいる人とは、遊んではいけない。」と言う。 ③日本に住んでいる外国出身のBさんは、地域の行事に参加することができない。 ④特定の病気患者にだけ国からお金が支払われた（賠償金）とき、国会議員が「私も患者になりたい。」と発言した。 ⑤C公民館の入り口にはスロープがなく、車いすを利用して生活する人や階段の昇り降りが困難な人は一人では入れない。 ⑥髪をリボンで結って登校してきた男の子のDさんに、班の友だちが「女みたい。」と発言し、笑いが起きた。</p>	<p>○カードを提示することで、子どもたちから、「差別だ」「差別じゃない」という、意欲的なつぶやきが聞かれた。</p>				
<p>事例カードを「差別」「差別ではない」に分け、その理由を話し合おう。</p>					
<p>2. グループごとに話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【内容選択】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の地域の住人・外国出身の人たちをのけ者にし、苦痛を与えている。 ・特定の病気患者たち・「しょうがい」のある人たちに不利益な状態となっていて、苦痛を与えている。 </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の人たちに対してだけ、理由もなく不利益や不愉快な思いを受けさせているわけではない。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">内容</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「差別」になる・つながる</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「差別」ではない</td> </tr> </table> <p>【個別と協同の一体的充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠に基づいて、自分の考えを発言する。 ・友達と考えを交流し、自分の考えを付加修正する。 </div> <p>3. 全体で交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○「差別」とは、<u>特定の人たちにだけ、何かの制限をしたり、不利益なことやいやな思いを受けさせたりすることである。</u></p> <p>○意図的かどうかではなく、結果（状況）として差別につながることもある。</p> </div> <p>4. 本時学習を振り返る。</p>	<p>根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の地域の住人・外国出身の人たちをのけ者にし、苦痛を与えている。 ・特定の病気患者たち・「しょうがい」のある人たちに不利益な状態となっていて、苦痛を与えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の人たちに対してだけ、理由もなく不利益や不愉快な思いを受けさせているわけではない。 	「差別」になる・つながる	「差別」ではない	<p>○グループでの話し合いでは、活発に議論する姿が見られた。前時のまとめ「勝手に思い込んだり、決めつけたりせず、いろいろな方向から考え、判断することが大切」を意識しながら、自分の考えを述べることができていた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○自分の日常の行動がどうだったのかについて振り返ったり、社会のあり様を見つめ、何を大切にしないといけないかを考えたりする姿が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もしかしたら、自分の行動があてはまるかもしれない、判断がまちがっているかもしれないと感じた。 ・「自分は関係ない」という考えではいけないと思った。 ・「差別」が社会にあってはいけない。なくしていかなければならない。 <p>【資料】 児童の本時学習の振り返り</p> </div>
<p>根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の地域の住人・外国出身の人たちをのけ者にし、苦痛を与えている。 ・特定の病気患者たち・「しょうがい」のある人たちに不利益な状態となっていて、苦痛を与えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の人たちに対してだけ、理由もなく不利益や不愉快な思いを受けさせているわけではない。 				
「差別」になる・つながる	「差別」ではない				

△？ 行動や考え、状態等を根拠にして、個々の事象を『差別』になる・つながる』『差別』ではないと判別することはとても難しいことがわかった。（前向きなとらえとして）

○ だからこそ、「差別」解消や「差別」のない社会の実現は、一人ひとりが考え、とりくんでいかなければいけないという認識に立つことができた。